

# 運協定期委員会①

## 12月7日（水）11時～ 地本会議室

# 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース



**車掌職場の参加少なく残念！**  
 駅職場と車掌職場から構成される地本運輸協議会、今年は車掌職場が2分会の参加で非常に淋しさを感じました。運輸区職場の場合、消化試合的になってしまっても分かりますが、何とかもうひとふんばり自分たちの職場に労働運動を残す取り組みをお願いしたいところです。

当分会からは、飯高副委員長が連協事務長、竜崎分会長が車掌分科長



として本協議会の重責を担っています。当日は鈴木書記長が委員として参加しました。

**座長選出**  
 連協副議長の安田さん（成田分会・小見川駅）の司会、開会あいさつで始まり、**座長には茂原分会（高架サービス）の篠原民雄さん**が選出され、議事が進行していきました。篠原さんは、駅職場から現在はエルダーとして異系統の仕事に就かれています。分会での担い手がいないこと



から、長年の経験と知識を活かして、本委員会に参加し続けてくれています。篠原さん、ありがとうございました。

**運輸議長あいさつ**  
 運輸石井光議長（両国分会・平井駅）より「組織全体で減少しており、他の地方においては、こういった職協別の委員会も開けない状況だが、千葉はどうにか取り組みている。運輸区職場では慢性的な要員不足と聞

### 若い人にも見える運動を！

いている。様々な合理化で色々なものが廃止され、特に駅ではICカードの推進で業務が増えていく。教育もないまま様々な営業施策が押し進められている。会社は要員状況をどう考えているのか（問いたたしていただきたい）。少ない中でも意見はあるはずなので、活発な討論をお願いしたい」とあいさつされました。

**来賓あいさつ**  
 地本加藤委員長（両国分会・市川大野駅、写真）は別の日のものです）から「組織強化の目的で分会再編の議論を進めているところである。各職場がどうなっているのか検証していく。不安を抱えている若い社員がたくさんいる。そういう



た声を我々がどう受け止めていくのか。地本内にも平成採用組合員が3名いる。自分たちが彼らに何を残していけるのか、しっかりと議論し、奮闘していかなければならない。春闘は賃金アップ要求額を決めていく。コロナ禍で会社のダメージは言うまでもないが、社員の賃金はそれに左右されるべきではない。賃上げだけではなく、職場の活性化もめざす。社員代表選挙も春闘の取り組みのひとつ。公共交通を守る闘いでは、利用者にも実態を周知させながら取り組んでいく。等々のあいさつがありました。

☆ 数年後には、国労の中に現役車掌もいなくなってしまうことを、この日しみじみ思いました。さみしいなあ。